

「大胆な政策転換必要」

IEAが「世界エネ予測」で勧告

年実績を盛り込んだ最新版では、「大胆な政策転換をしなければ、世界のエネルギー供給は今後、不安定で非効率的、かつ高炭素なエネルギー技術に固定化するなどの持続可能な状態に陥る」と指摘。その影響は広範囲にわたるだろうと警告している。

軌道修正の時間はまだあるものの、そのチャンスは次第に狭まりつつあると訴えている。

二〇三五年までのエネルギー需給見通し

IEAが予測の基盤とした「新政策シナリオ」は、各国政府が近年のエネルギー政策を移行に移すことを前提としており、これにより、世界の一次エネルギー需要は二〇一〇年〜三五年の間に三分の一増加する。その九割が非OECD諸国によるもので、中国が世界最大のエネルギー消費国で、長

期間にわたって平均三・五度気温が上昇すると計算。二〇三五年に中国の一人当たりの排出量はOECD諸国の平均と同等になるため、何らかの新政策が実行に移されなければ、六度の気温上昇という一層危険な状況に陥ると警告している。

こうした背景からIEAは、各国政府が効率的かつ低炭素な発電技術への投資促進で強力な方策を導入する必要があると表明。日本の福島原発事故、産油地域である中東とアフリカ北部での紛争、そして二〇一〇年にCO2排出量の記録的な増加を引き起こしたエネルギー需要の急激な回復は、事の重大さと緊急性を際立たせることになるだろうと明言した。

原子力発電開発
原子力に代わって、福

島事故がその将来の役割について問題を提起したとIEAは指摘。新政策シナリオによると、世界の原子力発電量は三五年までに現在の七割以上増加すると予測しており、これは昨年版の予測値をわずかに下回った程度だ。これは、同事故後も多くの国が開発の継続を再確認したことによるものとIEAは指摘。新政策確定要素が増した分、これが今後変化することもあり得るとしている。

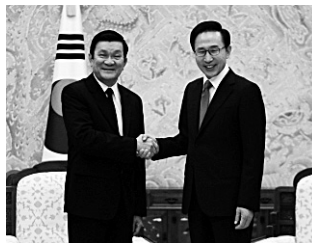
原子力開発がとりわけ低規模に留まった場合のシナリオとしては、将来のエネルギー供給の中

韓国と共同調査実施へ

ベトナム 原子力開発計画で

ベトナム国営通信によると、ベトナムと韓国の両政府は経済・貿易等の分野における連携強化で合意に達し、ベトナムの原子力発電開発拡大に向けた共同調査も含め、協力をいくの共同声明を九日に発表した。

ベトナムのT・サン国家主席が八日から三日間、韓国を公式訪問した



韓国の李大統領(右)とベトナムのサン国家主席(左)が握手している。

の国が開発の継続を再確認したことによるものとIEAは指摘。新政策確定要素が増した分、これが今後変化することもあり得るとしている。

原子力開発がとりわけ低規模に留まった場合のシナリオとしては、将来のエネルギー供給の中

大型機器メーカーに融資

英政府の供給チェーン強化策

英国の大型鑄造製品製造企業のシヤールド・フォーシマス・インターナショナル社(SFI)は一日、民生用原子力製品製造能力の拡大支援として政府から三千六百万ポンドまでの融資が提案されたこと発表した。

現政権は発足直後の昨年六月、前政権がSFIに約束していた二万五千ポンドの超大型プレス導入用政府融資八千万ポンドを撤回。しかし、その翌月には歳出見直し後に公的資金導入の可能性を示唆するとともに、二〇一一年に再び超大型プレス導入計画を検討すると約束していた。

英国政府は福島事故後も変わらず原子炉の新設



政府提案を直接ハネマンSFI社長(右)と首相(左)に伝えるクレック副首相。

は欠かせない重要事項との認識を新たにしたいと見られている。

今回、政府が提案した返済義務付き融資は第二回目の地方成長基金から割り当てられたもので、世界の原子力市場における能力拡大が主眼。SFIは民生用原子力鑄造製品の製造で米機械学会(ASME)の認証を保有する英国唯一のメーカーとして、その設備や工場の拡大を通じて、英国がエンジニアリング技術で世界の最先端に位置すると実証するよう求められるとしている。

原子力の研究開発拠点設立

英国の二大原子力発電所新設計画で

英国政府が進める原子力発電所新設計画で原子力ビジネス業界を大学教育の研究活動で下支えしようという共同事業体が八日、プリストル大学とオックスフォード大学の連携協力により「原子力研究センター(NRC)」の名称で正式に発足した。国内外の研究者が集結する重要な原子力研究拠点となるもので、創設記念式にはエネルギー・気候変動省のC・ヘンドリー閣外相が駆けつけ、祝辞を述べた。

NRCの目的は、既存の炉のみならず、これから英国で連関する原子力発

カーリーニン4が初臨界達成

ロシア



ロシアの北西約三百五十キロに位置するカーリーニン4号機が初臨界を達成した。ロシアの原子力発電企業のアトム社が明らかにした。ロシアで二十九基目の商業規模の発電炉とするため、最小管理レベルの出力で調整運転中だ。

同炉は、ロシアのアトム社は今年五月、同炉の安全性をアピールするべく、日本の大手新電力の一部メディアに内部を公開している。

ノースアナ原発が運転を再開

米国

八月の地震で停止していた米国のノースアナ原発(九十万kW)が二基が十一日、米原子力規制委員会(NRC)の許可を得て運転を再開した。二か月以上をかけた詳細な点検と試験、耐震解析等により、地震は同発電所の機能を損なわなかったと実証された。

同発電所を所有するドミニオン社役員およびNRC検査官が見守る中、中央制御室の運転員は1号機の起動プロセスを開始した。ドミニオン社は同炉の安全な稼働を確認した後、2号機でも同様のプロセスを実施する計画で、両炉が定格出力に達するには十日ほどかかるとしている。

同原発の二基は八月十三日の午後二時頃、マグニチュード五・八の地震により自動停止した。一時、外部電源を喪失したものの、バックアップ電源により安全系は通常通り機能。深刻な機器の損傷

オールドベリー1を来年閉鎖へ

英国

七日付けで、世界で稼働中の発電用原子炉の中で最も長運転年数の四十四年に達した英国のオールドベリー原子力発電所(一写真)1号機(GCR、二万三千kW)が来年二月で閉鎖されることになった。

同炉を操業するマグノックス社と所有者の原子力デコミッションング局が十月に、これ以上



の運転継続は経済的に見合わなくなる」と判断した。今年六月時点の発表では、二年末までの閉鎖が予定されていたが、それより十か月早い閉鎖が決まった。2号機は今年六月末に閉鎖されたが、1号機の操業は三度にわたり延長され、その間に発電した七十億kWhで三億ポンドの利益をもたらすとともに、六百万トンのCO2排出削減に貢献した。両炉による総発電量は現在までのところ三百億kWhにのぼっている。

閉鎖後は二〇一三年をメドに燃料の取り出しを完了し、廃止措置に入る。

NRCの目的は、既存の炉のみならず、これから英国で連関する原子力発